

令和 6 年度

施策評価シート

作成日 令和 7 年 6 月 9 日

更新日 令和 7 年 11 月 11 日

No.1

| | | | | | | |
|----------------|-------------------|---|-----|----------------------|-------------|-------|
| 総合 計画 体系 | 政策No. | 4 | 政策名 | 未来を担う人と文化を育むまちづくり | 施策主管課 | 生涯学習課 |
| | 施策No. | 3 | 施策名 | 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える | 施策主管 課長名 | 平野 玉緒 |
| 関連個別計画 | 市読書活動推進計画(R6~R10) | | | | 関係課名 | |

1 施策の目的と指標

| | | | | | |
|----------------------------|--|-------------------------------|---|---------------------|-------------|
| 市民 | ① 対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 | ③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) | | ④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) | *:総合計画の目標指標 |
| | | 名称 | 単位 | | |
| 自らテーマを持って生涯学習に取り組む | A 人口(常住人口) | 人 | C | | |
| | B | | D | | |
| | A 学習活動をしている市民の割合* | % | D | | |
| ⑤成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由) | B 市民一人当たりの図書館資料貸出数* | 点 | E | | |
| | C | | F | | |
| | 市民1人ひとりが生涯にわたり学習しているかについての「学習活動をしている市民の割合」、また市民が読書にどの程度親しんでいるかについての「市民一人当たりの図書貸出冊数」を指標とすることで市民の学習活動の状況を把握する。 | ⑥成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか) | A:「学習活動をしている市民の割合」は市民アンケートから把握する。 B:「市民1人当たりの図書貸出冊数」は、市立図書館データにより把握する。 | | |

2 指標等の推移

| 指標名 | 名称 | 単位 | 数値区分 | 前期基本計画期間 | | | 第2次総合計画 後期基本計画期間 | | | |
|----------|---------------------|----|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | | | 2年度 (実績) | 3年度 (実績) | 4年度 (実績) | 5年度 (実績) | 6年度 (実績) | 7年度 (目標) | 8年度 (目標) |
| 対象 指標 | A 人口(常住人口) | 人 | 見込み値 実績値 | 53,000 53,187 | 52,800 52,937 | 52,500 53,121 | 52,900 52,700 | 52,700 52,365 | 52,500 52,300 | 52,000 52,000 |
| | B | | 見込み値 実績値 | | | | | | | |
| | C | | 見込み値 実績値 | | | | | | | |
| | D | | 見込み値 実績値 | | | | | | | |
| 成果 指標 | A 学習活動をしている市民の割合* | % | 目標値 実績値 | 29.0 20.4 | 29.5 22.2 | 30.0 23.3 | 25.0 24.4 | 26.0 27.2 | 27.0 29.0 | 30.0 30.0 |
| | B* 市民一人当たりの図書館資料貸出数 | 点 | 目標値 実績値 | 6.7 5.8 | 6.8 6.5 | 7.1 6.7 | 7.7 6.5 | 8.3 6.5 | 8.8 9.4 | 10.0 10.0 |
| | C | | 目標値 実績値 | | | | | | | |
| | D | | 目標値 実績値 | | | | | | | |
| | E | | 目標値 実績値 | | | | | | | |
| | F | | 目標値 実績値 | | | | | | | |

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

- ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)
 ・住民による自発的かつ持続可能な生涯学習活動への取り組み
 ・住民への市民講座等への積極的な参加と仲間づくり
 ・余暇の活用

イ)行政の役割(市がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・市立図書館は、市民の多様なニーズに対応した資料収集・提供に努め、また、利用者が快適に学習できる環境を提供する。
 ・市立図書館と中央公民館は、市民が安全かつ快適に生涯学習施設を利用できるよう、施設環境の維持・管理に努めるとともに、必要に応じて修繕を行う。
 ・中央公民館は、市民の自主的な生涯学習活動の支援と学習成果発表の場を提供する。
 ・中央公民館は、市民ニーズの把握と魅力ある講座を開設する。

② この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか

- ・図書館において、利用者から郷土資料や行政資料等の充実を要望する声がある。
 ・住民からは「らぽーる図書館の市民への啓発や、他図書館との連携を充実してはどうか」との意見がある。
 ・中央公民館利用者から、「集会ホールの照明の改善」「エレベータ設置」などの要望がある。
 ・中央公民館の教室受講生などから、「高齢者のスマホ教室」など、市民ニーズに応じた講座開設の要望がある。

4 施策の成果水準とその背景

| | |
|--|---|
| (1) 時系列比較(令和2年度との比較) | (2) 近隣他市との比較(水戸市、ひたちなか市等との比較) |
| <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した。人口(常住人口) <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した。 | <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。 |

*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)

- ・図書館における「市民1人当たりの貸出冊数」は令和2年度が5.8冊と新型コロナウイルスもあり減少したが、それ以降は回復し令和6年度は6.5冊となっている。図書館まつりやおはなし会など様々なイベントを開催し、入館者数が増加したことから、貸出冊数に反映されたと思われる。
- ・中央公民館の利用者数はR2年度 32,502人、R6年度 45,554人と増加している。

*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)

- ・図書館の1人当たりの貸出冊(点)数
那珂市:6.5冊(点)、水戸市:4.32冊(点)
ひたちなか市:3.923冊(点)、常陸大宮市:2.28冊(点)
- ・中央公民館の令和6年度利用者数は那珂市が45,554人であるのに対し、東海村20,019人、常陸大宮市10,670人、大洗町10,724人で、近隣の中央公民館と比較して高い水準にある。

5 施策の現状と課題

① 施策の現状(当市の特徴、その要因として考えられること等)

- ・市立図書館の蔵書数は、令和6年度末に258,605点となった。
- ・市立図書館では、多くの住民から要望が高い郷土資料の充実に引き続き努めている。
- ・中央公民館では、市民ニーズに即した講座の開設に努めるとともに、自主的な学習活動が継続して行えるよう支援を行っている。
- ・中央公民館の利用者は、高齢者が多く固定化の傾向にある。
- ・市民がいつでも学べる場を充実させるため、計画的な維持管理・修繕を行い施設の長寿命化に取り組んでいるが、各設備の老朽化による修繕箇所が増えている。
- ・中央公民館は竣工から40年が経過し老朽化が進んでいることから、大規模改修工事を予定している。

② 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していくなければならないか)

- ・市民からのリクエストカードや予約カードにより市民のニーズを把握し、市民が求める資料を収集するとともに、他の図書館との相互貸借サービスを活用するなど更なる充実に努める必要がある。
- ・第4次那珂市読書活動推進計画に基づき、読書活動の意義や重要性について普及啓発に努めるとともに、イベント情報等を広く発信していく必要がある。
- ・幅広い年代が興味・関心を持つ講座を開設する必要がある。
- ・中央公民館は大規模改修工事を見据え、必要かつ最小限に施設及び設備の修繕を行う必要がある。

6 施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)・方針

- ・日頃から学習活動をしている市民の割合、市民1人当たりの図書館資料貸出数については、第2次那珂市総合計画後期基本計画(R5~R9)において施策の成果を表す指標として位置づけ、それぞれの目標値R7とR9を設定している。
- ・日頃から学習活動をしている市民の割合は、前期計画に掲げた目標値を達成することができなかったため、同じ値の30.0%に設定した。中間目標値は $(30.0 - 22.2) / 6 \text{年} = 1.3\% / \text{年}$ の増額を見込み $22.2 + (1.3 \times 4 \text{年}) = 27.4 \div 27.0\%$ に設定した。
- ・市民1人当たりの図書館資料貸出数は、年間29,000点増を目指すものとし、令和3年度の貸出数が345,000点であることから、目標値は $345,000 \text{点} + (29,000 \text{点} \times 6 \text{年}) = 519,000 \text{冊}$ 、 $519,000 \text{冊} / 52,000 \text{人} = 10.0 \text{冊}$ に設定した。

7 施策の目標達成のための基本事業

| 基本事業 | 基本計画期間における取り組み方針 | 主な事務事業 |
|-----------|---|-----------------|
| 生涯学習環境の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の重要な拠点である生涯学習施設の適切な維持管理に努める。 ・市民ニーズに応じた学習機会の提供に努め、生涯学習活動の推進を図る。 ・多様化する市民ニーズに応じ、資料の収集・提供に努める。 ・自主的な学習活動の場の提供や各種イベントを開催するなど、施設の有効活用を図る。 ・生涯学習の運営について、協議会や審議会等を定期的に開催する。 ・図書館においては、利用者に満足いただけるレファレンスサービスの充実に努める。 | 図書館管理事業、図書館運営事業 |
| 生涯学習活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する情報提供、相談体制の充実を図る。 ・生涯学習に関する情報をホームページや広報紙等を活用し、周知・提供する。 ・市民の自主的な学習活動を支援し、持続可能な生涯学習につなげる。 ・学習成果発表の場を提供し、学習意欲の向上を図る。 | 図書館運営事業 |
| 芸術文化の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつりを開催し、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供する。 | 学級講座開設事業 |